

**「ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・ゲノム研究プラットフォーム利活用システム)」
令和4年度終了課題事後評価 評価コメント**

No.	評価課題名	委託事業 代表者名	所属機関	役職
000-001	ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク利活用促進に向けたバイオバンク・ネットワーク構築と運用支援に関する研究開発	荻島 創一	東北大学	教授

【評価コメント】

バイオバンク・ネットワークを構築し、国内の多数のバイオバンクの連携を実現したことは、非常に大きな成果であり高く評価できる。また、3大バイオバンクのみならず参画するバイオバンクが連携して、試料・情報の提供に対して横断的検索システムで対応できるようになったこと、申請書や申請フローを共通化したことは優れた成果である。

バイオバンク・オープンフォーラムや、種々のメディアや学会を活用した広い範囲の情報発信も実現している。

課題などの情報を共有する基盤は形成されたが、今後は抽出した利用者ニーズを踏まえ、試料と臨床情報をセットで提供することや、それぞれのバイオバンクの特徴や独自性を生かした更なる利活用を進めていただきたい。これらを通して、新技術の創出、さらなる研究開発につながることを期待する。